

2018年4月10日

**泌尿器科ビジネス領域における尿路結石治療製品競争力強化のため  
Cybersonics 社の資産購入に向けた最終契約を締結**

オリンパス株式会社（社長：笹 宏行）の北米および中南米における地域統括会社であるOlympus Corporation of the Americas（ペンシルバニア州、以下OCA）傘下であり、北米における医療機器の開発、生産拠点であるOlympus Surgical Technologies America（マサチューセッツ州、以下OSTA）は2018年4月10日、Cybersonics Inc.（ペンシルバニア州、以下Cybersonics社）の尿路結石治療機器に関連する資産購入についての最終契約を締結しました。

泌尿器科ビジネス領域における尿路結石治療は、当社 16CSP（経営基本計画）における重点戦略領域です。今回の資産購入により、結石破碎装置を自社開発・生産し、泌尿器科ビジネスにおける競争力を高めて参ります。

腎臓、膀胱、尿管における結石治療方法として、経皮的尿路結石除去術（PCNL）および経尿道的結石除去術（TUL）は、効果的且つ低侵襲な方法としてよく知られた治療方法です。主に欧州・米国およびアジアの一部地域で販売している経皮・経尿道結石破碎デバイス ShockPulse-SE<sup>※1</sup> および CyberWand<sup>※2</sup> は、これまで、Cybersonics 社が生産したものをオリンパスが販売していました<sup>※3</sup>。

今後、ShockPulse-SE と CyberWand は OSTA が生産、修理を行います。OSTA は、北米における医療機器の開発、生産拠点です。また、これらの製品の生産技術を傘下に収めることで、泌尿器科ビジネスでのオリンパスのポジションを更に強化して参ります。

OSTA 社長 ジョー・ドハティ（Joe Doherty）は、「この資産購入により、泌尿器分野ビジネスの中心である尿路結石治療におけるオリンパスのポジションを強化すると共に、既存の生産技術に活かし、医療従事者の皆様および患者様のニーズにさらに答えられるよう、努めて参ります。」と決意を表明しています。

Cybersonics 社 社長 ジェフ・ボンド（Geoff Bond）は、「Cybersonics 社とオリンパスの長年にわたる協力関係に基づき、オリンパスに資産譲渡を行うことは、お客様にとっても有益であると考えております。」と表明しています。

※1 ShockPulse-SE は超音波と衝撃波の 2 つの効果を 1 本のプローブで伝達し、腎臓、膀胱、尿管における結石を破碎する製品です。

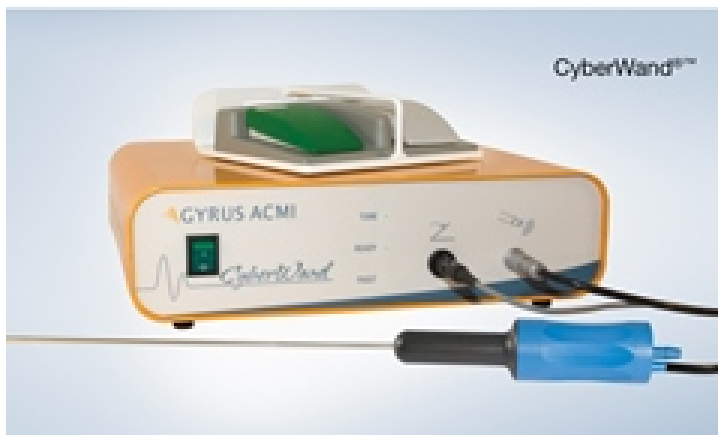
※2 CyberWand は超音波と衝撃波の 2 つの効果を 2 本のプローブで伝達し、腎臓、膀胱、尿管における結石を破碎する製品です。

※3 上記製品は国内では医薬品医療機器等法未承認です。



「ShockPulse-SE」

**OLYMPUS**



「CyberWand」

### ●Olympus Corporation of the Americas について

オリンパスは精密技術のリーディングカンパニーとして、コア事業である医療・外科事業、科学ソリューション事業およびカメラ・オーディオ事業において、革新的なソリューションを開発・提供しています。オリンパスはその技術を通じて人々の暮らしをより健康に、安全に、また充実したものとするを旨とし、そのことによって日々社会に貢献しています。オリンパス株式会社の完全子会社である **Olympus Corporation of the Americas** は、ペンシルバニア州センターバレーに本社を置き、5,000 人を超える従業員を有し、また北米と南米全体でのオリンパスの業務と事業活動を担っています。詳細については [www.olympusamerica.com](http://www.olympusamerica.com) をご覧ください。

### ●Cybersonics Inc.について

Cybersonics 社は、超音波技術に基づいた医療機器を設計・生産する会社です。Cybersonics 社は、神経外科、泌尿器科、末梢血管の手術において使用される超音波機器の革新的技術を持っています。